

# 深谷の子「6つの<sup>ちか</sup>誓い」 別添資料

## 「6つの<sup>ちか</sup>誓い」とは

深谷市のめざす子ども像「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成につながる行動目標として、「立志の精神（夢とこころざし）」で3項目、「忠恕の心（まごころと思いやり）」で3項目をかかげました。

この6つの行動目標は、深谷の子どもたちが今まで取り組んできている内容の一部であり、これから先も取り組み続けていってほしい内容となっています。

新しく宣言していくものではなく、今までの取組の中からより意識して6つの行動目標に取り組んでいってほしいと考え、よりインパクトをもたせるために、「約束」や「行い」ではなく、「誓い」としました。

## 「立志の精神（夢とこころざし）」の3つには

### どんな思いが込められているの？

#### 私は、夢に向かって努力します。

- ・ 夢は、人生を豊かにします。
- ・ 目標を立て、日々努力し、「こころざし」としてかかげていきましょう。

漠然と抱いていた夢の中から、自分の成長とともに、自分が果たすべき役割など、進むべき道を定め、「こころざし」としてかかげていってほしい、という思いを込めました。0歳から15歳の発達の段階を考えると、年齢が小さいほど「夢」を抱き、大きいほど「こころざし」をかかげられるようになっていきます。

#### 私は、毎日勉強します。

- ・ 真剣に授業にのぞみ、学び合うなかで、学力は定着します。
- ・ 家庭でも計画を立てて、毎日学習をしましょう。

学校の授業においては、アクティブラーニングを意識した「学び合い」をこれからも進めていくとともに、各校で特色ある取組をしている家庭学習を今後も引き続き進めていってほしいという思いを込めました。

「こころざし」を立てるためにも、毎日勉強することが大切です。

#### 私は、たくさん挑戦、体験します。

- ・ 実際に身をもって学ぶことで、新しい発見ができます。
- ・ 今までやっていなかったことにも挑戦し、体験をしましょう。

社会的なルールを守ったうえで、今までやってこなかったことにも挑戦してみると、知らないうちに自分でつくっていた自分像を変えるチャンスでもあります。

たくさん体験により「こころざし」を立てる際の幅を広げていってほしいという思いを込めました。

「忠恕の心（まごころと思いやり）」の3つには  
どんな思いが込められているの？

**私は、すすんであいさつをします。**

- ・ あいさつは、社会生活の基本です。 「おはよう」「ってきます」
- ・ だれにでも、気持ちをこめて、笑顔で元気にあいさつをしましょう。

深谷市では、平成4年5月29日から「あいさつ先手運動」に取り組んでいます。

あいさつを交わすことで互い気持ちよく過ごせます。あいさつは社会生活の基本といえます。「だれにでも」の言葉には、家族でも朝起きたら「おはよう」を交わしてほしいなど、身近なあいさつからも忠恕の心を大切に感じてほしいという思いを込めました。

**私は、脱いだくつをそろえます。**

- ・ くつそろえは、気持ちを整えることにつながります。
- ・ いつでもどこでも自分のくつはもちろん周りのくつもそっとそろえてみましょう。

深谷市では、昭和60年5月23日から「脱いだ靴を揃える運動」に取り組んでいます。

くつそろえは、一度自分の行動を止めることで、自分の気持ちを整えることにつながり、けじめのこころを育てます。自分のくつそろえはもちろんですが、はき乱しているくつを見かけたら、そっとそろえてあげることができる。そんな子どもになってほしいという思いを込めました。

**私は、心のこもったことばをつかいます。**

- ・ 「ありがとう」「どういたしまして」「ごめんなさい」「だいじょうぶです」
- ・ 支え合い、助け合い、人への思いやりは、温かい言葉となって表れます。ことばを大切にしましょう。

深谷市では、平成12年6月28日から「ことばを大切にしよう運動」に取り組んでいます。

言葉は心を表し、温かい言葉が心を開きます。支え合いや助け合いから、人への思いやりは温かい言葉となって表れます。

家族や身近な人にも、相手を思いやった言葉遣いをしてほしいという思いを込めました。